

【中学三年生女子のお父様から】

家では、宿題までが精一杯、復習はテスト前のが当たり前。テレビを見ながらの宿題。自分の机に向かったの予習は、夢のまた夢。決して、良い環境じゃないのはわかっているが。それをやめさせるには、勉強の時間を決めて、その時間は親がテレビを見なければいいのはわかっているが。

こんな環境を180度転換させる事態となった。そう、高校受験に追い込まれた中学3年生になった夏に、人生最初の集中して根を詰めた勉強が、始まった。それでも、相変わらず、家では宿題まで。でも、少し勉強の仕方や、“問題が分かる、問題が解ける、問題に正解する”という面白さが分ってきたのかな。

少し勉強に疲れた顔はするものの、顔に輝きや張合いの気持ちが伝わってくる。しかし、最後に一言。変わった学習塾だな？勉強だけじゃない時間を持つことが！私の時代にこの塾に出会っていたら、少し変わっていたかな？自分が！？

【そのお母様から】

昨年3月に引っ越してきて早1年が経とうとしています。長女が中学3年という時期に引っ越しをして、慣れない環境に親子共々焦っていました。それというのも、高校受験という長女にとっても私共親にとっても初めての経験と、長女は中学校3年間に2度の転校があり、勉強もちんぷんかんぷんの状態でした。

そんなある日、ゼミの広告誌を見て、松井先生のことを知りました。その時点でもうすでに1学期が経とうとしている時期でした。面接をして、夏休みから指導を受けました。当初は伸び悩んでいた、特に英語は2学期の終わりにはかなりの成績にまで上がりました。学校の三者懇談では、担任の先生によく頑張ったねと誉めていただき、「よほど相性の合う、良い塾だったんだね！」と、言われました。ここまで長女を引っ張ってくださった松井先生には、本当に感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございます。